



# 座談会

月日は過ぎても若かりし頃の思い出は鮮烈に残るもの

今回は一回生から五回生がようやくそろって学びはじめた当時の酒中生の先輩にあれこれ語っていた

だいた。

出席者は酒中時代を独自に調べている司会の

菅原藤也さん(七回生・関東学園大教授)と、応援歌誕生の秘話など談論風発に語る竹内六郎さん(五回生・東京亀城会顧問)、山木宏さん(六回生・建築設計事務所)の三氏(赤坂・瀬川で)。



郎 (5回卒)



木 宏 (6回卒)



也 (7回卒)

時軟弱と思われていた音楽に理解がありました。専門が博物で鳥海山に鳥海フスマなど高植物の採集によく行ってました。

山木 やさしい名校長だった。竹内 てきたのは斎藤重蔵先生。梅本校長が引つ張ってきた。生徒がオレより数学ができるよといわれた位。学問があつた。

山木 やさしくて一度も

がござやかに目に焼きついていた。

山木 賢俊雄(七回生)と好敵手上野

専精(鶴岡中)のデッドヒート

がござやかに目に焼きついていた。

山木 山内庄内三郡陸上競技大会があ

り、応援合戦がはなやかだった

山木 で庄内三郡陸上競技大会があ

り、応援合戦がはなやかだった

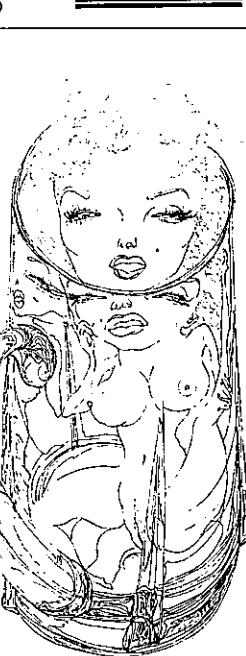
山木 専精(鶴岡中)のデッドヒート

がござやかに目に焼きついていた。

山木 がござやかに目に焼きついていた。



# スズキシン一 スズキシンの横顔



ジョッキの中のモンロー

アレキサンドリア（地中海）の水平線とリビア砂漠の地平線が同化して表わされてくるのです。わずかな首の反応で水平線が揺れている。

こんな、こわれそうなヴィジョンとロマンの表現はカミソリの刃の路（線）か、○・○・ミリメートル以内のペンの跡（線）にだけ可能性が残っていると思う。

ある一瞬息がとまり緊張と興奮の連續で仮死状態になるとき九十パーセントも進行している作品のうえにペン先から真っ黒な血を落としてしまった口惜しさ……。ペン画は絶対にやり直しは許されないと知り、とりこになってしまった。

鼻息でアルコールの入ったグラスの表面が薄すら曇るほど顔を近づけ凝視すると、日没前の

大きな話題になつていて。最近評された「スズキシン一ペン画集」は日本大学芸術学部卒業後、や

りなおしが絶対に許されないペン画にとりつかれ、一回勝負に自分をかけている。

一本の線を唯一の表現手段とし、自分の意思と行為のすべてを賭け、海と沙漠と天空をよ

## 『親睦の輪を大きく広げ 結束固い東京二八会』

——沿革——

た。

東京二八会という名称の由来は会名が示す通り、昭和二八年

に酒東を卒業した首都圈在住者の集まりである。現在では酒田

の本部を置く酒東二八会、東京

支部というものが正式の名称になつていて。この会のそもそも発端は古く

昭和三十五年にさかのばる。そ

の当時はこの様にまとまつた組

織ではなく、「誰からともなく」集

まるうじやないか」という自然

発生的なものであつた。当時、

柳橋宏（元鉄興社）や、金山義雄、中山嘉彦、今井俊明らが呼

び掛け人となり錦糸町の小料理屋に集まつたのが、最初であつ

て二八会を開きませんかという誘

——多士済々の人物群像——

日本大学芸術学部卒業後、や

りなおしが絶対に許されないペ

ン画にとりつかれ、一回勝負に

自分をかけている。

# 忘れな草

山木 宏  
(昭和五年卒業)

此の頃教科書の種類限定や内

容訂正が又問題になつてゐる。

僕も種類はそんなに多くなくて

良いと思うが、内容訂正の強

要には一寸ひつかかる。むしろ

教師の側がもつと広い教養を

身につけて適宜補つてもらいたい

と思うのだ。思想や教育の統

制と言つても、戦争以前の様な

ことにはならんと思うからだ。

中学に入学、ピカピカの一

年生であった。最初の日本歴史

の時間、小学校とどこが異なるの

であろうか？ 浅山先生が入つ

て来られ、型通りの行事の後名

簿を見て、山木出て來いと言つた。

怪訝な氣持で立つて行くと、黒

板にイザナギノミコト、イザナ

ミノミコトと書けといふ。前日

予習のつもりで一応目を通した

のだが名前には仮名が振つてあ

った。小学校ではこの字は書取りに

出ない約束なのだ。黒板の前で

考えるふりをして頭をかしげた

りして、山木出て來いと言つた。

伊坂進 (昭和一〇年卒業)









酒田東高等学校長

## 佐々木金二

東京亀城会の皆様にはご健勝でご活躍の事と拝察致しております。今春の卒業者も一万五千名をこえます。今春の卒業者をもつて亀城同窓会員も一層隆昌いたしましたこと、まさに慶賀に存じます。

六十周年記念事業及び関連事業は三月末をもつて終了し、同員会は、五月七日解散総会を行いました。昭和五十三年に結成されて以来、教育活動向上のために物心両面にわたり充実を図って下されたことに重ねて御礼一段と本校の体容が充実いたしました。

## 五六年度東京亀城総会

## 盛況裡に終了

五十六年度東京亀城会総会は

去る十月三十日、永田町都道府

県会館内「レストラン富士」で開催、会場には立錐の余地のない程、熱意溢れる会員諸兄でいっぱいでした。

最近ではめづらしい程、多数の方々が参集され、友人知己の消息、先輩の動き、郷里の話題など、なごやかな雰囲気に終りました。

またこのたびは新たに隣市、鶴岡の鶴翔会（旧制鶴岡中学、現鶴岡南高の同窓会）の代表も敬称略。

①斎藤芳夫、②小松直幸、③根

## 昭和五十七年度東京亀城会

## 総会開催のお知らせ

日時 五七年一〇月二九日(金)  
会場 新宿区西新宿一丁目4番4号  
議題 ①役員改選 ②会計報告

年会費 一、〇〇〇円  
会員 五年以降卒業生は

○印内の数字は卒業年次、

当日の出席者は左記の通りで

ました。

本年度総会、懇親会を下記によ

り実施いたします。

ご同級生の皆様とお誘い合わせ

の上、ご出席下さい。

ご出席いたさ。

最後は恒例になつております

ご出席いたさ。

ご出席いたさ。